

・羽田空港新ルートについて

Q. 羽田空港新ルートの運用が始まっていますが、2分に1度の多大な騒音です。我が家には3歳の子供がおりますが、音を怖がっており、落下物のリスクも考えると外で遊ばせることができません。

品川区として反対表明をしてくださらなかったのでしょうか。今後この新ルート撤回に向けて、国への働きかけをして頂けないでしょうか。他のルートを使えるのであれば、ずっとそのルートでよいのではないのでしょうか。

静かな生活を送ることはそれぞれに平等な権利と考えます。

A. 国は、国際競争力の強化を進める上では、首都圏空港の機能強化は必要不可欠なこととし、羽田空港の国際線増便のため滑走路の運用を見直し、年間の4割に相当する南風時の午後3時から7時の間の実質3時間に限り、品川区上空を飛行する着陸ルートを定め、令和2年3月29日より運用が開始されました。

区は国から羽田空港機能強化計画が示されて以降、国に対し要望書を提出するなど、様々な機会を捉え安全対策の徹底や騒音環境における負荷の軽減に取り組む、多様な手法による区民の皆様への丁寧な説明の実施を、実施主体である国の責任において確実にを行うことを求めてまいりました。

本格運用が開始されるなか、区民の皆様からは依然として落下物や騒音、不動産価格への影響など、不安の声が寄せられています。国は、航空機の安全対策はなによりも優先すべき課題として、国際基準などを遵守し、安全対策を幾重にも重ねることにより、高い安全性を確保することとしています。また、落下物対策として世界に類を見ない対策を講じ、国内外の航空事業者へ義務化し、騒音対策についても進入高度の引き上げや低騒音機の導入促進など、可能な限り環境影響に配慮した方策を講じるとしています。

区は今後も引き続き、首都圏空港との調整などにより、都心上空を飛行するルートを固定化することがないよう取り組むことを求めるとともに、区民の皆様からいただいたご意見につきましても国へ伝えてまいります。

(都市環境部都市計画課)